



CDP水セキュリティ2021 日本概要報告

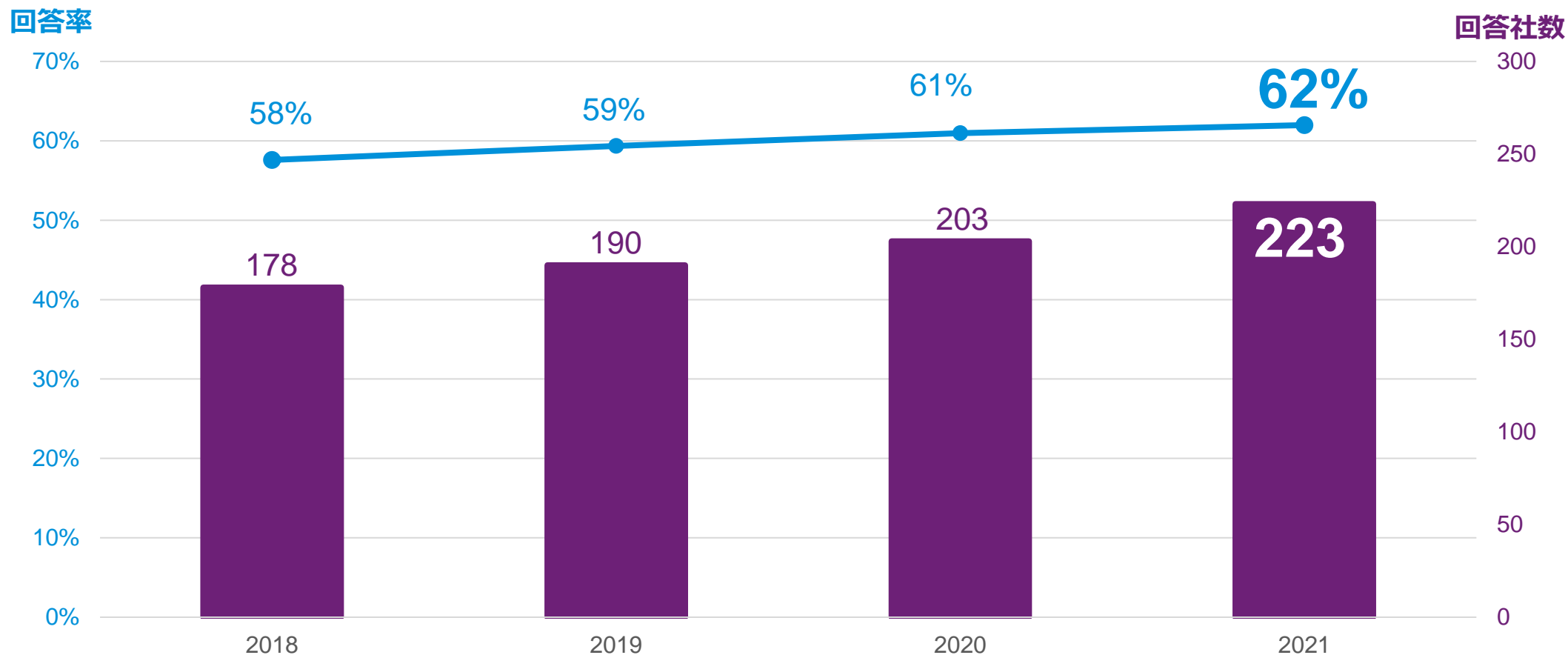
2021年1月19日

KPMGあずさサステナビリティ株式会社

斎藤 和彦

質問書への回答（全体）

□ 361社のうち223社（62%）が回答（親会社による回答は含まない）。回答率は前年から1ポイント増。



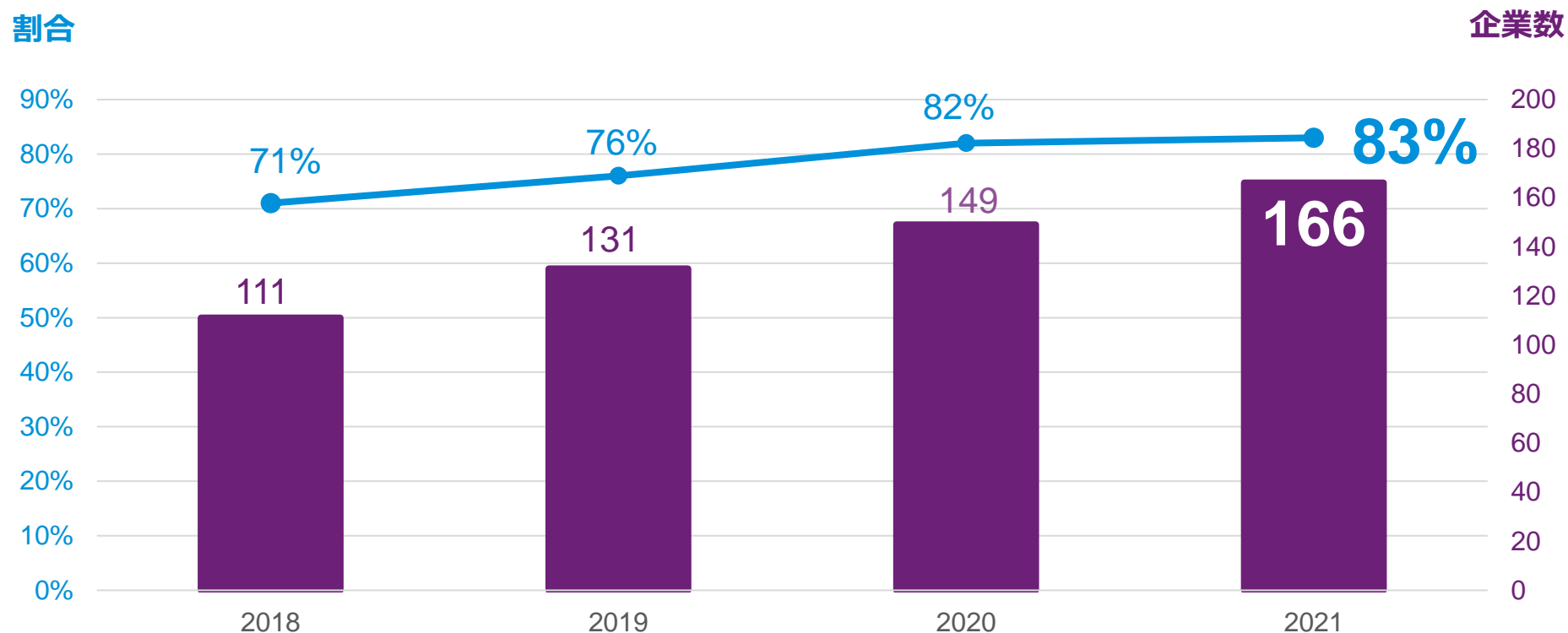
質問書への回答（業種別）

- 「アパレル」と「発電」は一般的に水リスクの高い業種と捉えられているが、回答率はそれぞれ、25%、40%と大きく平均回答率を下回る。
- 特に水リスクが高いと認識されている業種に属する企業には、投資家の情報ニーズに応えるべく、関連する情報を開示することが期待される。

| | 回答率 | 回答数 |
|----------------|-----|-----|
| アパレル | 25% | 1 |
| バイオ技術・ヘルスケア・製薬 | 62% | 18 |
| 食品・飲料・農業関連 | 70% | 21 |
| 化石燃料 | 80% | 4 |
| ホスピタリティ | 29% | 2 |
| インフラ関連 | 27% | 7 |
| 製造 | 77% | 97 |
| 素材 | 76% | 48 |
| 発電 | 40% | 4 |
| 小売 | 29% | 12 |
| サービス | 70% | 7 |
| 輸送サービス | 22% | 2 |
| 計 | 62% | 223 |

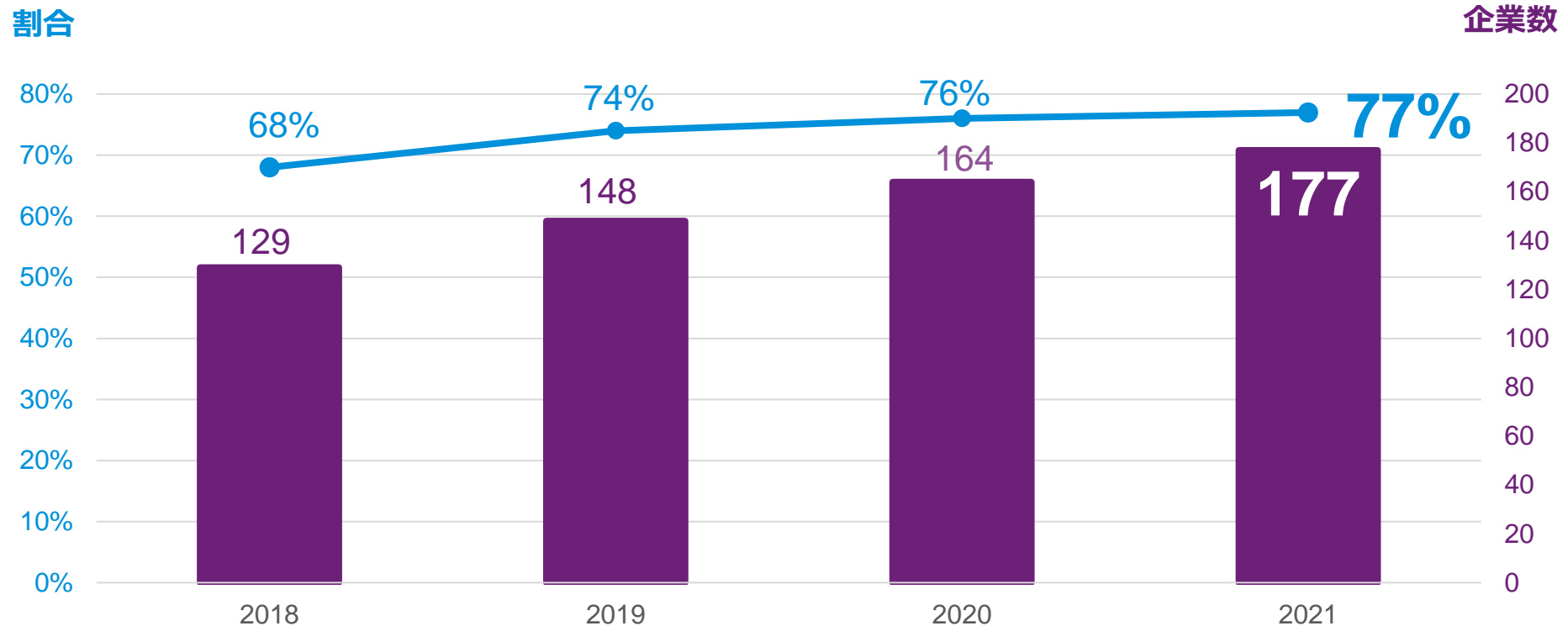
バリューチェーンとのエンゲージメント

- 間接的な水の利用可能性に一定の重要性を見出している日本企業のうちの166社（83%）はサプライヤーをはじめとするバリューチェーンパートナーとのエンゲージメントを行っており、この数と割合は過去から着実に増加している。



目標設定

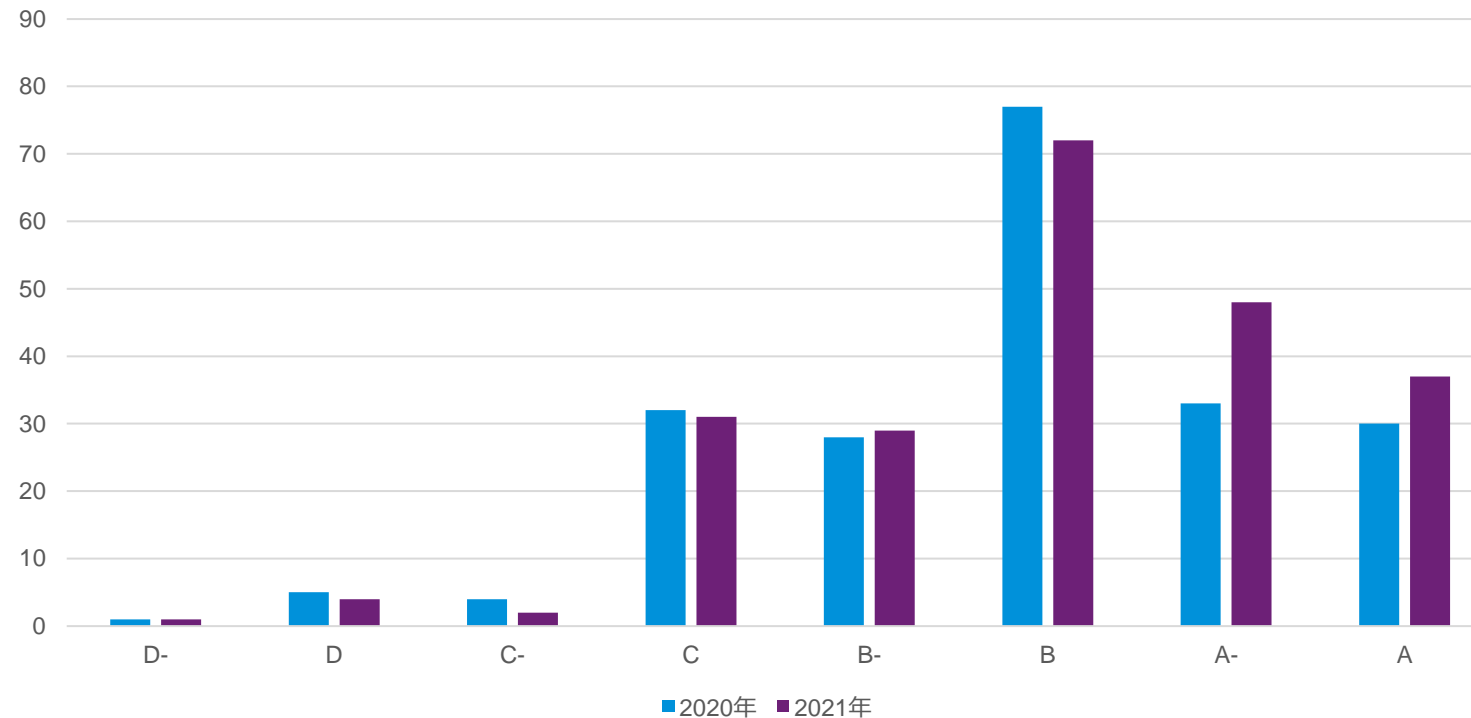
- 水に関連する定量的な目標も定性的なゴールも設定していないと回答している企業は15社（7%）のみであり、**176社（77%）は定量的な目標と定性的なゴールの両方を全社的に設定している**。この数と割合は過去から着実に増加している。



スコアリング結果

□ 日本のAリスト企業数は前回から7社増加し、37社。全世界での水セキュリティAリストは118社。全体の3割以上を日本企業が占めている。

企業数



| | | |
|---------|---------|----|
| リーダーシップ | 65-100% | A |
| | 0-64% | A- |
| マネジメント | 45-74% | B |
| | 0-44% | B- |
| 認識 | 45-79% | C |
| | 0-44% | C- |
| 情報開示 | 45-79% | D |
| | 0-44% | D- |



KPMGあずさサステナビリティ株式会社
パートナー
齋藤 和彦
E: kazuhiko.saito@jp.kpmg.com



home.kpmg/jp/socialmedia

home.kpmg/jp

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2022 KPMG AZSA Sustainability Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.